

おうみネット

1999・11

NO. 14

Ohmi Net

トピックス

実行委員による座談会

「おうみ市民活動屋台村」を 振り返って



視覚障害者の方たちと買い物を楽しむ「ぐるーぶでとて」に参加するおうみちゃん 詳しくはセンターインフォメーションを

● 淡海ネット・コラム
福祉の社会化

● スポットライト

いぶきクラブ・三輪車（彦根市）
杉沢温故創新クラブ（伊吹町）
（社）呆け老人をかかえる家族の会 滋賀県支部

● ネットワーク

伝言板11月・12月の活動団体情報
リレーエッセイ
Voice

● センターインフォメーション

左から順に

谷口 久美子さん(淡海文化振興財団運営会議委員)
「コカリナ」コンサートとお話会」と
「潮人の会」ワークショップを担当

御船 泰秀さん(あとびつと)
「アトビー情報交換広場」と「保育ルーム」を担当

堤 幸一さん(環境市民滋賀)
「NPOのワークショップとサポート」と
「まちづくり・市民活動ワークショップ事例紹介」を担当

尾木 恵子さん(滋賀まちづくり研究所)
「情報BOX大集合」担当



TOPICS

「おうみ市民活動 屋台村」を 振り返って

9月19日(日)、ピアザ淡海・
県民交流センター2F・3Fとなぎさ公園で、
市民活動団体のフェスティバル
「おうみ市民活動屋台村」を開催し、
110団体、約3500人が参加されました。
後日、このイベントを企画運営した
実行委員の方々と
振り返りの座談会を行いましたので、
その概要をお届けいたします。



- 展示
 - 環境にやさしい「ステップジェット」の展示
 - 環境団体のパネル展示
 - 市民団体のパネル等の展示
- 講演
 - Y2K(コンピュータ2000年問題)最新情報と暮らしへの影響
 - これぞ江州音頭の要選
- サロン
 - 淡海ネットワークサロン
- コンクール・展示
 - ミニコミ・ニュースレターコンクール
- 情報コーナー
 - 市民団体PRコーナー
- フリーマーケット
 - 市民団体フリーマーケット

- ワークショップ
 - 脳卒中を知ろう!音楽療法士とともに
 - まちづくり・市民活動ワークショップ事例紹介
 - 知りたい!会いたい!つながりたい!
 - 「潮人(うみんど)の会」ワークショップ
 - ~なまの舞台を楽しもう~
- 体験・実演
 - 伝統芸能を体験しよう(扇踊り・日傘踊り)!!
 - 「カロム」体験・実演コーナー
 - パソコン・インターネット体験・実演コーナー
 - ネイチャーゲームを体験しよう!
 - バードカーピングでパズをつくろう!
 - 「コカリナ」コンサートとお話会

「おうみ市民活動屋台村」メニュー

- 映画
 - 「ゼノ〜がきりなき愛に」/劇映画「ユキエ」
- フォーラム
 - まちづくりフォーラムin淡海
 - ラオスと日本
- 相談
 - ざっくばらんに!!アトビー情報交換広場
- 実例報告
 - ユニバーサルデザインの町づくり
 - 「びわこ発」誰もができる国際貢献運動
- 交流
 - 交流会「情報BOX大集合」
 - 環境ボランティア交流会
 - ~環境交流円卓会議
 - NPO支援のためのNPOセンターをめざして

司会 ● 6月にスタート、9月19日の本番までわずか4カ月という短い準備期間でしたが、終了した今のような感想をお持ちですか。
尾木 ● 全くゼロからの出発でしたので、**無事に終わってほっとしました。**
谷口 ● 今まで名前だけでしか知らなかった人たちと協同でつくっていく中で、こういう人がこういう思いでやっているんだなあと分かりました。実行委員になってそんな人たちとつながりができたことがよかったですね。

堤 ● 自分たちで企画して自分たちで運営したので、そういつたつながりができたのではないかと思います。交流は場を設定して「さあどうぞ」といってできるものではないですけれどね。
御船 ● 実際の会場で、違う分野の人と親密な交流が十分できなかったこと、屋台村をやっている人同士が一つに集まる場がなかったことは残念でした。
谷口 ● 当日は本当に来てくれるのだからかと心配していました

が、実際たくさん来られて、やっぱり箱じゃなくて、誰が何をするかだと思えました。あれだけの市民が来られたのは、それだけの中身があつたイベントにあつたからではないかと思えました。
司会 ● 実行委員の皆さんには、この企画の最初から関わっていただきましたが、それについてはいかがですか。
御船 ● 最初は淡海ネットワークセンターへの依存が強かったですね。
谷口 ● ぎくしゃくしてました。行政が召集する集まりといえは大枠ができていて、その了承を得るといった感じのものが多く、自分たちで創ろうとする意欲をそぐものがありました。実行委員の中でもそういうお立場を期待していた人もいました。

と手を挙げる人が出てきたのは最近のことだと思うんです。
御船 ● 白い紙に好きなように絵を描いてくださいと言われてあげたいグループもあれば、できないグループもあります。今回は実は厳しい提案で、どうぞ好きなようにと言われてもできないことがあるし、見えない枠がありました。最初からこういうふうにしてくださいと言われての方が建設的な意見が出せるでしょうね。
分野は様々なんでですけど、求めているものが「よい市民生活」や「自己実現」といった共通のものであることがよく分かりました。
御船 ● 僕はあれに参加して3分以上話したんですよ。おもしろいお母さんがいたり、いろんな人がいてとても楽しかった。
堤 ● このやり方で「屋台村」をもう1回やってみようということになれば、今度はもっと中身を考えようということになりますね。

実行委員会の中に幹事会というとりあえずの決定機関をつくったこと、かみ合うようになってきました。
尾木 ● 実行委員の自主的な運営だったので、文化、環境などいろんな団体が参加し、発表の形態も展示、ワークショップ、コンサート、講演会などバラエティに富んでました。
私は情報BOX利用団体の交流を企画したんですが、時間制限のスピーチコーナーでも時間内に話し終わらない人がいて、こんなに伝えたいことをいっぱいもっているのだと実感しました。また、

司会 ● 今回、開催目的として、①県内の市民活動やNPOの情報を広く紹介する②市民活動やNPOへの理解を深める③市民団体の交流を深めること——としていましたが、そのあたりはいかがでしたか、そのあたりはいかがでしたか、そのあたりはいかがでしたか、そのあたりは

堤 ● 最初の実行委員会で「お互いの交流会ならやるな」という意見がありました。税金や公の場を使って事業をするのには一般の人に広報しないとは何事かと。確かにその通りなのですが、県

おうみをかんがえる...

淡海ネット・コラム



福井富美 (ふくい・ふみ)
 特定非営利活動法人
 しみんふくし滋賀
 専務理事
 (財)淡海文化振興財団
 運営会議委員

福祉の社会化

—介護保険制度のスタートを前に—

来年4月1日より「介護保険制度」が実施されることとなります。この新しい制度についてマスコミを始め、市民レベルでもいろいろな議論がなされており、「特定非営利活動法人(NPO)しみんふくし滋賀」もこの制度のもとで県の指定を受けて事業を行うと準備を進めています。

「しみんふくし滋賀」は11年前に行われた「抱きしめてBIWAKO」に参加した人の中から“福祉を社会化”しなければと感じた人たちが集まり、第一歩を踏み出したのがその始まりでした。そうしてようやく昨年12月に施行されたNPO法によって私たちのようにこれまで法人として認められてこなかった団体が法人になる道が開かれ「市民福祉」が現実の力を持つことになりました。そして今年4月1日滋賀県第1号として、「特定非営利活動法人しみんふくし滋賀」となりました。

「しみんふくし滋賀」はホームヘルパーサービスを事業の一つとしていますが、個人的にはサービスの提供者であると同時に受け手でもあります。なぜなら私たちは皆老いていきます。老いるということは、手足が弱る、目が弱るから始まっているいろいろな意味で障害を持つという事だからです。私たちは、人生を生きていく上でさまざまな課題の解決を他人に委ねたり、行政への要求にとどめる事なく、自分のこととして方策を見つけ、地域に根付かせたいと願ってこの10余年活動を続けてきました。

新しく始まる介護保険制度は、まだまだ未整備、不完全なものといわざるを得ません。今後、情報の公開を求めるとともに私たち市民も関心を持って見守り、又、参加によってよりよいものにしていくことが大切と言えるでしょう。

NPOは、会費で運営されながら、剰余金は会員に還元されず、社会のために使う仕組みの、日本にとって全く新しい形の法人です。私たちはこの先駆的な社会の動きに福祉という立場で参画し、この事を通じてより強いネットワークをぜひとも作りあげたいと願っています。



という広域レベルでは、市民活動に取り組む人たちが出会って情報交換するだけでも価値が十分にあるんじゃないか、交流に目的を特化させても公共性としては問題ないんじゃないかと思

います。
 谷口●今回はいろいろな人がいるんな所を垣間見ることができ、良かったんじゃないかと思いま

す。次回があれば、続けて来る人は何か目的を持って来られる人もい



▲ おーい自然! 環境の部屋
 おうみ市民活動屋台村

か配慮ができ、全体の交流を深めることができるでしょう。
 谷口●そういった目的から考えると100点満点中何点ですか?
 尾木●1回目ということで70点。初回として合格点だと思います。堤●20点かなあ。今後5年くらい続けていく中で60点、70点に持っていければいいと思います。
 谷口●これから何も始めなければゼロですね。でもその始めるきっかけを作ったということとで評価したいですね。
 谷口●来年はもっと参加者の輪が広がると思うので、2日間開催するというのはどうですか。実行する側の前夜祭的なものもあるし、同じメニューを2日間してもいいし。
 尾木●他の部屋をのぞいて、いろんな団体の活動を知りたいので、もっと余裕がほしいです。
 堤●行政や企業にも見てもらえるような、ワークショップ、プログラムの工夫もしたいですね。
 また何千人来たかよりも、幾つつながりできたかが大切で、NPOと企業、NPOと行

まず市民団体の中で交流して、相互理解を図り、最終的に二丸となって外に発信していくようにするべきだ

と思います。今回はちょっと焦りすぎで、この一回に求めるも

人もい

し、自発的に何かしたいと思

るのが本

ミニコミ・ニュースレター・コンクールの結果発表!!

- 最優秀賞 「大津シネマクラブニュース」大津シネマ倶楽部
- 優秀賞 「SHIGAまち研通信」滋賀まちづくり研究所
 「八幡瓦版 仄仄(ほのぼの)通信」秀次倶楽部
 「オーミング」ガチャコン倶楽部
- 入賞 「ECOマザークラブ」ECOマザークラブ
 「やすらぎ」(社)呆け老人を抱える家族の会(滋賀支部)
 「伝言プラザ」ひこね国際交流会VOICE
 「無憂の郷 無憂の郷」
 「ナマステ通信」ナマステ通信
 「Mailみちくさ」みちくさ一学校に行かない子どもと歩む会—

45団体の応募がありました

スロートライト

環境・福祉・まちづくり...
滋賀県内外でキラキラ元気に活動されている方々に
スポットライトをあて、その活動を詳しく紹介します。



◀みんなで記念撮影

が「ドーマン法」というリハビリ体
操のお手伝いを、さらにこの
8月から知的障害者の施設
「かいせ寮」の寮生達の外出
ボランティアを始めるなど、
スケジュールはいっぱ
いです。

人間同士のおつきあい。 何も特別なことじゃ ないんです。

◀右から、
「三輪車」部長の森田さんと、
「いぶきクラブ」部長の吉田さん



みんなでお出かけ
月に1度の
「日曜学校」

共同作業所に通って
いる障害のある人たちは、
休みの日は家に閉じこ
もりがちです。そんな
人達と友だちになって、
いろんなところへ遊び
に出かけようと、今か
ら約20年前、県立短期
大学に「いぶきクラブ」
が、滋賀大学に「三輪車」
が生まれました。現在、
大学に引き継がれ、そ

のメンバー22人
と「三輪車」の10
人は合同で活動し
ています。活動の
メインは「日曜学
校」と名付けられ
た月に1度の「お
出かけ」で、彦根
の「たんぼ共同
作業所」や「セル
ブひこね」の仲間
達とボーリングに
行ったり、キャン
パスで楽器作りを
したり、行楽地に
行ったりといろんな企画を立てて楽しんで
います。また、4年前から週に3、4回、数人



みと明るい笑顔が広がりました。
(編集ボランティア 大山純子)

他の人達にも
みんな対等な人間なんだって
わかるきっかけを...

「障害者と関わるって大変でし
よう。偉いなあ」と言われます
が、友だちが病氣や怪我をした
ら、手伝ってあげるのと同じ。何
も特別なことじゃなく、人間同士
のおつき合いが深まればいいんです。
自主参加でやりたい人がやるので、
みんな楽しんでやっていますよ」と
「いぶきクラブ」の吉田いつみさんの
言葉に、「三輪車」の森田敏行さんも
「みんな同じ人間ですから」とうなず
きます。「ボランティアする側、され
る側ではなく、対等な人間関係なん
です。そのきっかけを他の人にもも
ってもらえれば」と二人は語ります。
次の予定の11月の芋掘り大会が楽し
みと明るい笑顔が広がりました。

10輪ピックから 和太鼓へ。 自分たちで「文化」を 創っていききたい

▼事務局長の要石さん



介護する家族を支えて20年。 癒しの場づくりから 社会の提言へ

滋賀県立大学「いぶきクラブ」
〒522-0041 彦根市平田町227-6
浜部コーポB室
TEL・FAX 0749-23-8352
部 長 吉田いつみ 人 数 22人
活動区域 彦根市周辺 設 立 1977年

滋賀大学「三輪車」
〒522-0041 彦根市平田町194-1
思文閣210号
TEL 090-8821-7850
部 長 森田敏行 人 数 10人
活動区域 彦根市周辺 設 立 1977年

「日曜学校」で
楽器をつくる



リフレッシュ旅行
での集合写真





▲勝居炎陣太鼓

古きを温めて新しきを創る
「温故創新」

「自分たちで、楽しいことを作ろう」——伊吹山のふもと杉沢地区に暮らす要石さんは、学生時代に地元を離れ、就職を機に帰郷。生まれ育った故郷で、何かおもしろいことをと草野球の仲間とともに、88年、オリンピックにちなんだ「10輪ピック」を始めました。2月のスキーに始まり、ポウリングやバドミントン、水泳など、1年かけて10の競技を開催。区民のほとんどが何らかの形で参加しました。その斬新的な経験を活かし、まちおこしのグループ「杉沢温故創新クラブ」を結成。



「基本は世代を越えて、みんなで作るんです。生まれながら良かった、住んで良かったと思える『杉沢』にしたい、それがメンバーの願いです。新しいアイデアは、クラブ員の交流から浮かんできます。昨年からは、杉沢らしい文化を創りたいと太鼓を始めました。22人のメンバーが練習を重ね、今春「勝居炎陣太鼓」として披露。

「これをきっかけにまた新しいつながりをつくりたいですね。そして太鼓がうまくなりた。楽しみは足もとにあった。これが私たちの想う地域づくりの想う地域づくりのキーワードです。これからも楽しめることを肩・肘張らずに続けていきたいですね」
(編集ボランティア 松井由美子)

「温故創新」と名付け、豊臣秀吉ゆかりの勝居神社のたじまつ祭「いもち送り」を復活させるなど、文化的なものや交流的なものを入れて、この10輪ピックは3年続きました。次に取り組んだものは、縄文竪穴式住居の製作です。歴史のロマンを郷土のシンボルにと、伊吹山のキャリに始まり、杉沢にある縄文遺跡の発掘にも参加、苦勞を重ねて2年がかりで住民自らが作り上げました。



杉沢温故創新クラブ
〒521-0311 坂田郡伊吹町春照490-1
TEL 0749-58-1121 FAX 0749-58-1630
事務局長 要石祐一 人数 約25名
活動区域 伊吹町 設立 1988年

「活動を始めた20年前は、呆けが病気であるという社会的理解はなく、介護する家族は本当に大変でした。」(社) 呆け老人をかかえる家族の会 滋賀県支部 世話人代表の猿山由美子さんは、自らの介護経験から、介護に携わる家族の癒しの場とそれに関する情報提供の大切さを感じ活動を始めました。「介護に携わる家族には3つのハードルがあります。介護者の60%が嫁という現状の中、親の呆けを認めない、介護の辛さを理解しないという夫のハードル。次に、長男の嫁が親の面倒もみられないのかという親戚のハードル。そして、近隣や社会のハードルです。呆けに対する認



▲音楽療法についてのお話を熱心に聴く会の人達



▲代表の猿山さん

(社) 呆け老人をかかえる家族の会 滋賀県支部
〒520-0864 大津市赤尾町27-12
TEL 077-534-7217 FAX 077-534-7243
世話人代表 猿山由美子 人数 約25名
活動区域 滋賀県内 設立 1979年

識不足から介護者が悪者にされてしまった。オープンに介護できない雰囲気がありますよね。」

子どもに苦勞をさせないために 自立した個人として生きていくために

現在、滋賀県支部の会員約170名のうちほぼ半数が現役介護者。2ヶ月ごとに会報を発行し、例会で介護で困っている家族の方が安心して愚痴を話せる場づくりをしています。また保健婦や施設の方などの専門職をもつ会員が、呆け老人やその家族の実状を知ることができる場にもなっています。全国39支部、7000人の会員をもつ会の地道な活動により、行政や医療機関が呆けを認知し、介護に携わる家族の大変さも少しずつ軽減されてきました。「家庭介護には限界があります。自分たちがした介護の苦勞を子どもたちにさせないために、また幾つになっても自立した個人として生きていくために、介護保険制度を始め、社会福祉の在り方について、私たちはきちんと考えていかなければならないと思います。」猿山さんの話に身が引き締まる気がしました。

(編集ボランティア 奥田久美子)



日時・場所・問合せ先等を明記の上、
FAXまたは郵送で
センターまで
お寄せください。
(12月10日締切です)

**特別養護老人ホーム
玉園ハイムへの訪問活動**

11/7 [日] 15:00~15:30 (30分前集合)
場所●玉園ハイム (八日市市)
問合せ●077-564-2493
カナヤ犬猫病院

**秋山庄太郎氏と北近江を撮る
アートフォトコンテスト**

11/13・14 [土・日]
場所●「北近江」の紅葉の溪谷と余呉湖
内容●写真家秋山庄太郎氏を招き、
写真談義と余呉湖周辺での実地撮
影演習を行います。
参加募集人数●80名
参加費●18,000円 (1泊2日3食付)
宿泊なし8,000円
問合せ●0749-65-6505
北近江浪漫コミュニティカレッジ係

**「明日の少子高齢社会を語る、
子供と大人の集い開催事業」
2000年おうみ未来会議
~大人と語りたい! 子どもに伝えたい!~**

1/5・6 [水・木]
内容●西暦2000年、新たな世紀を目前にし、
「今、私たちは何を考え、どう行動すべきなのか」
みんなで集まって未来を語り合ひましょ
う
問合せ●077-564-7868
「2000年おうみ子ども未来会議」
実行委員会

一緒に楽しみませんか?

**特別観望会「太陽系9大惑星をGETしよう」
第4回木星・土星**

11/13 [土] 19:30~21:30
場所●ダイニクアストロパーク天究館
内容●太陽系の9つの惑星を1年間で全部見
せてしまおうという観望会。参加者にはも
れなくスタンプ帳と星図をプレゼント
参加料●小中学生 100円 高校生以上 200円
問合せ●0749-48-1820
ダイニクアストロパーク天究館/吉田

**文庫で役立つクリスマス
手作り講習会**

11/15 [月] 10:15~15:00
場所●守山市立図書館視聴覚室
内容●クリスマスカード・クリスマ
スパラソル、など
持ち物●はさみ/両面テープ/ものさ
し/ボンド/細字マーカー (黒・赤)
定員●50名
参加料●300円+400円 (材料費)
問合せ●077-583-9457 (FAX兼) 真弓

**第2回 サウンドスケープ
“朽木 森の音景色”**

12/4・5 [土・日]
場所●朝日の森、朽木自然研修所
内容●コンサートや音のワークショ
ップなどなど
募集対象●小学校4年生ぐらいから
募集対象●80名
参加料●8,000円 (1泊3食)
問合せ●077-525-4578/大津おやこ劇場

一緒に考えませんか?

**シンポジウム
“日本語ボランティア活動の
現状と将来”**

11/7 [日] 10:00~12:00
場所●県立女性センター (近江八幡市)
内容●パネラーの提言をもとに、意見交換
主催●びわこ日本語指導者ネット
問合せ●077-565-9215 恩地

**県立女性センター 施設ボランティア
「ひまわり講座」**

11/12 [金] 13:30~15:30
場所●県立女性センター 大ホール
講師●小西孝彦氏 (元朝日新聞制作デスク)
内容●21世紀はボランティア時代
~輝いて生きるために~
問合せ●0748-37-3751
県立女性センター (近江八幡市)

生き方研究会 滋賀交流会

1) 11/7 [日]・12/4 [土] 13:30~16:00
2) 11/21 [日] 13:30~16:00
12/3 [金] 18:30~20:30
場所●1) ウイングパレス草津
2) ひこね市文化プラザ
内容●幸せで健康な生き方についての勉強会
参加料●500円 (会場費等) /初回無料
問合せ●0748-48-4262
生き方研究会 滋賀交流会/松井

**つくろう・手をつなごう
草津の子どもネットワーク・
子育てネットワーク
子どもたちの未来を
考えるシンポジウム**

1) 11/14 [日] 10:00~16:00
2) 11/16 [火] 10:00~13:00
場所●草津コミュニティ支援センター
内容●子どもたちと子育ての周辺こどもネ
ットワーク・子育てネットワークをつくら
う
1) シンポジウム 2) 問題別分科会
募集人数●80名 保育所●有り (実費要)
参加費●1日のみ300円 2日共500円
(お茶・資料代)
問合せ●077-564-7868
<http://www.biwako.ne.jp/~nt-tenki/>
NPO法人子どもネットワーク天気村

**文化フォーラム
「トークセッション'99
~新しい世紀へ~」**

11/21 [日] 13:30~15:30
場所●野洲文化ホール
出演者●平野次郎 (NHK解説委員)
残間里江子 (プロデューサー)
内容●よりよい社会 (地域) の構築のために、
今私たちに必要とされている様々なことを
「対話」をとおして、それぞれに感じていた
だくことを目的としたフォーラムです。
問合せ●077-587-6713 福山

**難病 (炎症性腸疾患) の医療講演会
「潰瘍性大腸炎、
クローン病治療の現状」**

11/21 [日] 13:20~16:30
場所●明日都浜大津 大津市ふれあいプラザ
内容●炎症性腸疾患で苦しんでいる
されている滋賀県内の患者ご本人
やご家族・関係者の方々を少しでも
勇気付けられることができればと
考えております
参加募集人数●180名
問合せ●0748-57-1288 (FAX兼)
滋賀IBD友の会/堀井

**滋賀県子ども文庫連絡会
近藤薫美子氏講演会**

11/24 [水] 10:30~12:00
場所●県立図書館大会議室
内容●テーマ「いのちいっぱい絵本
にのせて」
資料代●500円
問合せ●077-564-3139 木村

**男女平等社会づくり自主学習
グループ公開学習会 (パートⅢ)
共に考えてみませんか?
岸和田の女性から学ぼう!**

11/30 [火] 8:50~17:00
場所●岸和田女性センター (草津)
内容●女性同士の交流を深め方と女
性センターの役割
定員●30名
参加費●1,500円 (資料・昼食代)
申込締切●11/25 [木]
問合せ●075-562-6460
草津市男女平等社会づくり
自主学習グループEN/三上

**カウンセラー概論
カウンセラー・1Dayセミナー**

12/4 [土] 10:00~16:00
場所●駅の道・びわ湖大橋 米プラザ
内容●いじめ、不登校、家庭内暴力
等々、様々な家庭問題、社会問題
を解くことのできる、カウンセラ
ーの育成を目的とします。
定員●50名
受講料●3,000円 (郵便振込み)
申込締切●11/25 [木]
問合せ●0749-27-1384
マザー・カウンセリング協会/比佐野

**平成友の会
「ミニフォーラム」トーク・トーク**

12/4 [土] 13:30~15:30
場所●県立女性センター (近江八幡市)
内容●女性問題あれこれ話し合います
問合せ●077-537-5505 石井

助成案内

**トヨタ財団 市民活動助成
市民&NPO-新しい公共の創造へ向けに~**

公募期間●10/1 [金]~11/30 [火] 必着
助成対象●分野や形式は問いませんがテーマ
の趣旨に鑑み、プロセスや成果が、後の新たな
状況創出につながる提言型の計画を重視します
助成金額●原則として一件あたり200万
円程度 (但、出版の場合は100万円程度)
助成期間●2000年4月1日より原則として1年間
申込書請求先・問合せ●「プロジェクト」ま
たは「出版」の別を明記の上、送料分の切手
(1部・200円、2~3部・390円)を同封して、11
月22日までに下記へお申し込み下さい。
〒163-0437
東京都新宿区西新宿2-1-1
新宿三井ビル37階私書箱236号
TEL03-3344-1701
財団法人トヨタ財団市民活動助成係
<http://www.toyotafound.or.jp/>

**ハウジングアンドコミュニティ財団
住まいと
コミュニティづくり活動助成**

公募期間●10/1 [金]~12/10 [火]
(当日消印有効)
助成対象●「住まいの周囲にある魅力や可能性
を採す」[生活を豊かにする施設を提案し、実現
をめざす][環境の改良、コミュニティの活性化]
など住まいとコミュニティづくりにつながる活動
助成金額●原則として一件あたり100万
円を上限とし、総額1,000万円を予定
助成期間●2000年4月1日~2001年3月31日
申込書請求先・問合せ●官製葉書で11月
10日までに、下記へお申し込み下さい。
〒107-0052
東京都港区赤坂1-5-11新虎ノ門ビル5階
TEL03-3586-4869 FAX03-3586-3823
財団法人ハウジングアンドコミュニ
ティ財団/吉野
[http://www2.tokyoweb.or.jp/hou
singandcommunity/](http://www2.tokyoweb.or.jp/housingandcommunity/)

大阪コミュニティ財団

公募期間●12/1 [水]~10 [金] 15:00必着
助成対象●①科学技術や人文・社会科学の振興②
学校・社会教育のプログラムの助成③芸術文化財団
の支援④国際交流活動の支援⑤環境保全や国土緑化
活動の支援⑥障害者・高齢者支援グループの助成等
助成金額●事業全所要額の半額以下
助成期間●2000年4月予定
申込書請求先・問合せ●〒540-0029
大阪府中央区本町橋2-8 大阪商工会議所内
TEL 06-6944-6260 FAX 06-6944-6261
財団法人大阪コミュニティ財団
<http://www.osaka-community.or.jp/>
E-mail:inform@osaka-community.or.jp

「つながる」想い

「ECOマザークラブ」
かとう一美

最近私がハマっている「つながる」の西暦2000年問題の中に、「つながる」というキーワードがあります。単発的なコンピュータのトラブルも、現代のようなネットワーク社会では、連鎖し波及して、思いがけない大事故につながりかねない、という説明をするときによく使われます。「つながる」という現象は、人間関係のみならず、想いにもあてはまるかもしれません。否定的な感情は、言葉や態度となってその場の空気をネガティブにし、逆に一人のアツイ想いは、周りの人へと感化し全体のテンションを上げていくことが多々あります。だとしたら、幸せ



「ECOマザー
クラブ」
かとう一美
(竜王町)

今回は「ままさんはうす」の稲田静美さん(竜王町)です。お楽しみに。

手から手へ リレーエッセイ

10

最近私がハマっている「つながる」の西暦2000年問題の中に、「つながる」というキーワードがあります。単発的なコンピュータのトラブルも、現代のようなネットワーク社会では、連鎖し波及して、思いがけない大事故につながりかねない、という説明をするときによく使われます。「つながる」という現象は、人間関係のみならず、想いにもあてはまるかもしれません。否定的な感情は、言葉や態度となってその場の空気をネガティブにし、逆に一人のアツイ想いは、周りの人へと感化し全体のテンションを上げていくことが多々あります。だとしたら、幸せ

もまた人から人へ、空気から空気へと連鎖していくのではないのでしょうか。そして、世界のすみずみまで本当の意味での幸せが伝播しきったとき、この世からあらゆる争いや差別がなくなり、市民活動もまたその役割を終えるような気がします。

伝言板

11月・12月

イベント等に参加された感想もお待ちしております。

こんなことしま〜す

第4回 しみんふくしチャリティバザー

11/7 [日] 10:00~15:00
場所●ファミリーサポートセンター野洲
問合せ●077-586-2588
特定非営利活動法人しみんふくし滋賀

長浜おやこ劇場 第87回幼児例会 人形劇「うみはぷくぷく」

11/7 [日] 10:30~
場所●湖北勤労者福祉会館「臨湖」
内容●「つづくわえ」さんの作・演出・出演によるファンタジーあふれる人形劇
入場料●3才以上1,500円 ペア2,500円(会員無料)
問合せ●0749-64-1527
長浜おやこ劇場
会員募集中!!

オートニョ・デ・アモール ~こちよい秋~

11/12 [金] 19:00~20:30
場所●ダイニックアストロパーク天究館
内容●西村ひかるさん・久連松貴子さんのピアノと、岡崎雄子さんのサクソフォンによる、クラシックコンサート。
定員●100名先着順(要事前申込み)
問合せ●0749-48-1820
ダイニックアストロパーク天究館/吉田

第9回「彦根からのメッセージ」 (VOICE日本語スピーチ大会)

11/14 [日] 13:00~16:00
ビバシティホール(ビバシティ彦根)
内容●外国人による日本語スピーチと歌、ダンス、楽器演奏等のパフォーマンス
問合せ●0749-23-5517
VOICE事務局/丹下

第16回 日本フルーツ フェスティバルin滋賀

11/14 [日] 14:00~16:00
場所●野洲文化ホール
内容●プロ・アマチュアのフルーティスト100余名による大合奏で「ねこ」をテーマにした曲の数々を演奏。元京響首席フルーティスト伊藤公一氏のミニリサイタルも開催
入場料●1,000円
問合せ●0748-74-0406
日本フルーツフェスティバルin滋賀
実行委員会事務局/松山

模擬裁判 「巨額融資~ある頭取の決断~」

11/14 [日] 13:30~16:30
場所●甲西町立図書館
内容●実際にあった銀行の不正融資事件をテーマに、模擬裁判の形で問題に迫る
参加募集人数●50名
問合せ●0748-72-5550
甲西町立図書館

子ども文庫フェスタ'99

11/27 [土] 14:00~
人形劇・トロッコによる人形劇
「三まいのおふだ」
11/28 [日] 11:00~
ペープサート「キャベツくん」/パネルシアター「かにむかし」/巻絵「へそもち」その他
場所●大津市立図書館
問合せ●077-523-2104
大津市文庫交流会/岡村

第29回滋賀県芸術祭参加 第24回長浜市芸術祭参加 長浜ギター・マンドリン アンサンブル第12回定期演奏会

11/28 [日] 13:00(開場) 13:30~
場所●長浜市民会館大ホール
内容●第一部 マンドリンオリジナル
第二部 クラシック
第三部 ロシア民謡を訪ねて
ギター・マンドリンを愛好する、25名のサークルです。職種も年代も様々。音楽文化の発展に尽くしたいと思っています
入場料●500円
問合せ●0749-63-9321
長浜ギター・マンドリンアンサンブル/木野
(E-mail:gitaman@mx.biwa.ne.jp)

第6回山岳写真展 「心に映る山々」

12/26 [日] まで11:00~17:00(月曜休館)
場所●ダイニックアストロパーク天究館
内容●(社)日本山岳会のアルパインフォトクラブによる山岳写真の展示です
問合せ●0749-48-1820
ダイニックアストロパーク天究館/吉田

参加しませんか?

あしながPウォーク10

11/7 [日] 10:00~
場所●JR大津駅前集合
内容●ガン遺児支援のためのボランティアウォーク(10km)
参加費●500円
問合せ●078-453-2418
あしながPウォーク10実行委員会/根岸



ご意見やご感想、市民活動
について思うことなど、
どんどんセンターへ
お寄せください。

おひなネットワークセンターへ お問い合わせ

●センターからの助成金情報
がほとんどない。

●これまで助成金情報が少なかったのは事実です。助成金に関する相談には助成団体要覧(財団法人助成財団センター発行)などを元に個々に対応していますが、今後、財団

や企業などの助成金情報で「おひなネット」編集時に間に合うものは掲載していきたくて考えています。また、財団法人助成財団センターのホームページにリンクしてありますのでそちらでもご覧いただけます。と思います。

●淡海ネットワークセンターに助成金制度がないのは致命的では…。NPOが最も必要としているのは、活動資金だと思います。

●助成金制度はNPO法で先送りされた寄付金税制とも絡んでいきます。淡海ネットワークセンターとしても問題意識

をもって今後検討していきたいと考えています。

●NPO間のネットワークは、的はずれで、NPOとそその対象のネットワーク、NPO個々の活動の後押しをすべきじゃないですか。

●それぞれの活動の後押しを求めているNPOもありますが、ネットワークを求めているNPOもあり、NPOによってニーズが様々です。センターでは、どれも必要なこととして、個々に対応しています。

以上、関田哲さん(栗東町)からの
ご意見にお答えいたしました。

淡海ネットワークサロン参加者募集

現場の話を聞いてみよう!!

淡海ネットワークサロンは、市民活動の様々な分野をテーマにゲストを交えて、自由に意見交換するサロンです。皆さんのネットワークづくりの機会として、ぜひご参加下さい。定員は先着20名様です。サロン開催日の3日前までにお申し込み下さい。

お申し込みは
電話、FAX、
E-mailで
センターまで。

■ 山の文化を発信～山の豊かな暮らしとは～

日時 ● 11月13日(土) 12:30～14:30
場所 ● ぎやらりい道の道 (大津市葛川下町平)
ゲスト ● 塚本茂さん 参加費 ● 200円+食事代(約1,000円)

■ 新しい仕事を探す～NPO・NGOで働くこと～

日時 ● 11月28日(日) 13:30～15:30
場所 ● ピアザ淡海 県民交流センター (大津市におの浜1-1-20)
ゲスト ● 内山博史さん(NPO政策研究所) 参加費 ● 200円

■ 土と触れあう体験教育～今、子どもに必要なものとは～

日時 ● 12月4日(土) 13:30～15:30
場所 ● NPO法人 子どもネットワークセンター 天気村
(草津市東草津1-1-15)
ゲスト ● 山田貴子さん 参加費 ● 200円

おうみネット号外のお知らせ

先日、編集ボランティア会議を行い、おうみネット号外のテーマについて話し合いました。そこで決まったテーマは、「今さら聞けないNPO(仮称)」。NPO・市民活動、また淡海ネットワークセンターについての素朴な疑問について特集します。「NPOとNGOの違いは?」「センターにはどんな相談がよせられているの?」などなど。みなさんの疑問・意見をFAX、E-mailでセンターまでお寄せ下さい。号外は3月頃に発行予定です。

編集ボラン
ティアさん
募集中!!

淡海ネットワークセンターブックレットNO.8発行

わくわく市民活動セミナーの講義録やフォーラム、交流会の記録をまとめた淡海ネットワークセンターブックレットを発行しています。今年度のわくゼミの講義録をまとめた、NO.8「NPOとボランティアの創造的な関係」(講師:播磨靖夫さん)ができました。1冊300円(送料別)です。ご希望の方はセンターまでお申し込み下さい。

淡海ネットワークセンターブックレット(既刊)

- NO.1 わたしたちが開くこれからの地域社会 (設立記念フォーラム記録)
- NO.2 市民活動の意義と役割 (講師:山岡義典さん)
- NO.3 市民活動促進のための法制度をめぐる議論 (講師:雨宮孝子さん) **残りわずか!**
- NO.4 これからのNPO経営～おうみ市民活動交流会記録 (基調報告:木原勝彬さん)
- NO.5 NPOのための資金獲得術 (講師:早瀬昇さん)
- NO.6 欧米のNPOの事例に学ぶ (講師:跡田直澄さん)
- NO.7 市民・企業・行政のパートナーシップを求めて～第2回おうみ市民活動交流会記録 (基調対談:高橋宗治郎さん・北村裕明さん)

1999年度版淡海NPOデータファイル発行

県内の市民活動グループ614団体を市町村別に分け、団体・グループ名と代表者、連絡先、設立目的、活動内容などを掲載しています。公立図書館や市町村、県事務所の窓口で閲覧できます。今年度は、E-mailアドレスと総索引を追加しました。1部500円(送料別)で販売していますので、ご希望の方は淡海ネットワークセンターまでお申し込み下さい。

11・12月号の表紙

「ぐるーぷ てとて」は、視覚障害者の話を直接聞き、その時々ニーズにあった点訳・お手伝いをしています。点訳は、料理カード・CD解説、時刻表(個人の必要な部分)・レストランのメニューなど。また点訳以外でも、一緒に買い物を楽しんだり、井戸端会議のように、日常生活や社会生活のことなどのおしゃべりを楽しみます。見える・見えないの垣根なく楽しみながら、お互いを高めあい、もっと交流の輪を広げ、ちょっぴり社会の役もに立っていきたいと思っています。

編集後記

FACE to FACEで“おいしいこと” みつけませんか?

9月19日のおうみ市民活動屋台村は多くの方のご協力により、大盛況で幕を閉じました。いろいろとありがとうございました。みなさんの“おいしいこと”は見つかりましたか?秋からは少人数でいろんな分野の方の話をきく「淡海ネットワークサロン」が始まりました。その場所、その人ならではの“おいしい話”を毎回聞きながら、この感動をもっと多くの人に伝えられないかと思えます。今回、スポットライトの取材中、「ボランティア活動っ

て、結局は人間関係なんですよ」という言葉をきき、なるほどと思いました。一人ひとりが違うからこそ、おもしろくてややかしい人間関係。でも実際の活動の中には、1+1が3にも4にもなるような人間関係があって、サロンや取材を通してそんな話をきくと、それがともうらやましく、そして参考になります。ちょっと勇気がいりますが、FACE to FACEで知識を得ることの大切さを実感しています。次号からいよいよ2000年に突入です。

淡海ネットワークセンター

(財)淡海文化振興財団

〒520-0801 大津市におの浜1-1-20
TEL 077-524-8440 FAX 077-524-8442
http://www.biwa.ne.jp/~ohmi-net
E-mail:ohmi-net@mx.biwa.ne.jp

ご利用日時 ● 月曜日と祝日の翌日を除く毎日(12/29～1/3を除く)
火～金曜日/9:00～19:00 土・日曜日、祝日/9:00～17:00

